



HIGASHI 21
TWENTY ONE

株式会社ヒガシトウエンティワン (9029)

個人投資家向けIRセミナー



ヒガシトウエンティワングループの ご紹介



- 設立：1944年12月
- 本社：大阪市中央区
- 代表者：児島 一裕
- 上場区分：東証二部

資本金 **10 億円**

売上高 **244 億円**

従業員数 **1011 名**

※2021.3月期/連結

※2021.7月時点/連結

3PL・総合物流サービス

最適なサプライチェーン
構築へのトータルサポート
・マネジメント



総務系物流・BPOソリューション

社内文書物流効率化や
機密文書保管・リサイクル
サービス



オフィス移転サービス

大規模オフィス移転
からレイアウト変更まで、
幅広いソリューション



ビル内デリバリーサービス

高層ビルの複雑な物流を
制御し、快適なオフィス
運営をサポート



PCキitting・IT関連サービス

機器導入から、システム
部門のバックアップまで
トータルサポート



介護用品レンタル・販売サービス

介護支援事業者様
向けの福祉用具レンタル
及び販売事業



「グループ6社」



創業～1970年代

- ・1944年 大阪市東区内の運送会社13社が統合し、大阪東運送株式会社設立
- ・1947年 経営基盤強化のため、日本生命保険相互会社が資本参加
- ・1968年 倉庫事業を開始
- ・1977年 駐車場事業を開始
- ・1979年 東京営業所開設し、首都圏へ進出



1980年～1990年代

- ・1982年 軽貨物自動車運送事業を開始
- ・1985年 ヒガシ運送サービス株式会社に社名変更
- ・1988年 埼玉県戸田市でヒガシトランクルームを開設し、ドキュメントサービスを開始
- ・1989年 産業廃棄物収集運搬業許可を取得
- ・1996年 東京オペラシティでビル内デリバリー事業を開始



2000年代

- ・2002年 株式会社ヒガシトゥエンティワンに社名変更
- ・2003年 介護支援事業者（福祉用具貸与事業者）に福祉用具レンタル及び販売事業を開始
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式を上場



2010年代～現在

- ・2011年 東京証券取引所市場第二部に上場
- ・2016年 ユートランスシステム株式会社をグループ会社化
- ・2017年 株式会社イシカワコーポレーションをグループ会社化
- ・2018年 ビル内デリバリー事業を株式会社FMサポート21に承継 / 株式会社トランスポート21を設立
- ・2019年 指名委員会等設置会社へ移行 / ニッセイロジスティクスセンター東大阪を開設
- ・2020年 門真総合物流開設 / 事務所移転引越事業をヒガシオフィスサービス株式会社に承継



- ✓ **物流設計能力**を強みとし、関西圏から首都圏へ事業を拡大する物流企業
- ✓ 運送事業や倉庫事業を中心に様々な物流サービスを提供し、幅広い分野の大手優良顧客層が安定収益基盤となっている **(企業⇔企業の物流を主軸に展開するBtoB企業)**

幅広い分野の大手優良顧客


順位	顧客	売上高 (単位：百万円)
1	日本生命グループ	4,241
2	関西電力グループ	1,514
3	大手e-コマース会社	1,197
4	毎日新聞社グループ	626
5	中堅電器メーカー	546

上位10社売上占有率	43%
首都圏売上比率	37%



⇒ 大手優良顧客の多くは上位株主

独自性・競争力ある事業

オフィスサービス事業


 オフィスサービス
 ・オフィス移転
 ・移転に伴う不要什器や備品の買取・廃棄
 ・赴任引越し

⇒ **認証・追跡システムを活用した万全のセキュリティ**





3PL事業

・輸配送
 ・物流センター運営・倉庫保管
 ・物流加工
 ・産業廃棄物管理

⇒ **長年の実績・ノウハウと800社超の協力会社**

* 2019年10月ニッセイロジスティクスセンター 東大阪、2020年7月の門真総合物流を開設



ビルデリバリー事業


 FM SUPPORT 21
 ・ビル内デリバリー（館内物流）
 ・ビル内ショップの運営

⇒ **独自のELV・荷捌駐車場管理システム**




物流設計能力



複雑なモノの流れに対応した
【人×倉庫×マテハン（ベルトコンベアや梱包機器等）×車両×システム】を
最適に組み合わせる能力を表現した、当社グループの造語です。

■当社グループにとって「物流設計能力」とは・・・

1 企業間物流における諸課題を解決するもの

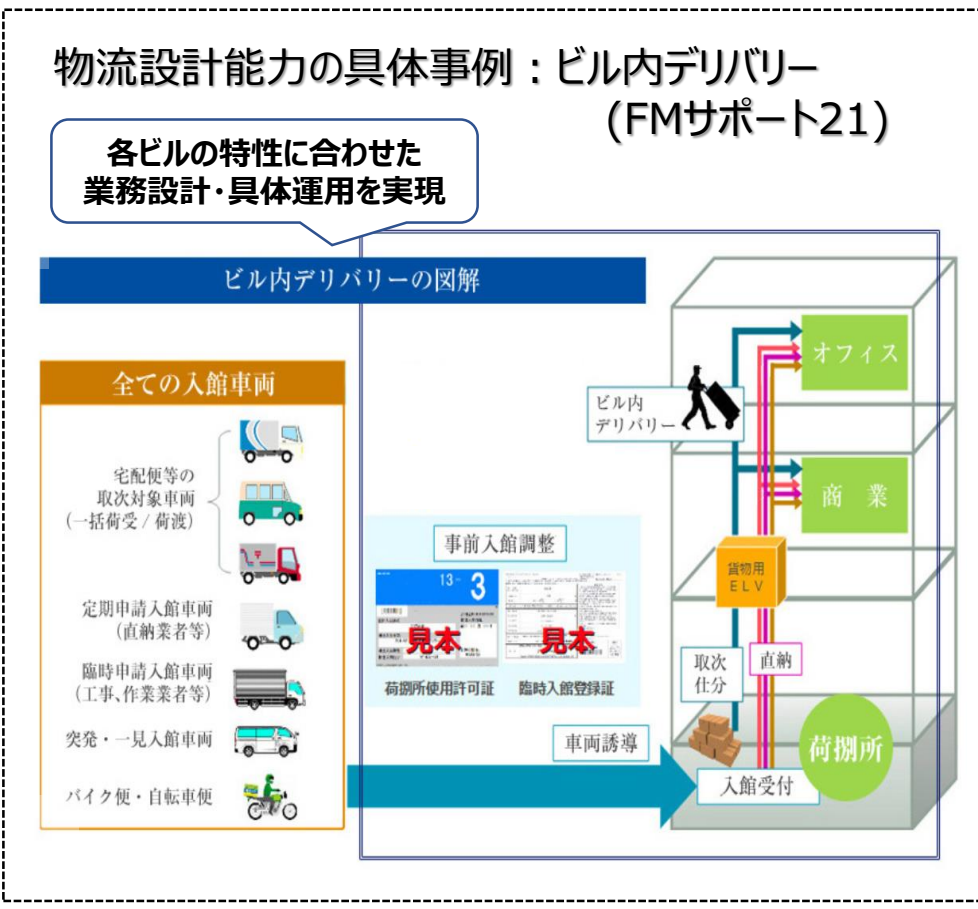
納期・円滑なサプライチェーンの構築・取扱商品の多様性
（重量、機密性等）・コスト等々の最適化への対応

2 成長戦略の鍵

長年の実績に基づくノウハウがあり同業他社が短期間で模倣する
ことが難しく、マーケット競争力の源泉に

3 当社の本質や伝統を表現するもの

当社グループは物流設計力をもって
【物流コンサルティング×物流の実行 = 最適物流を実現する会社】
2,000社以上の企業様取引と、77年の実績



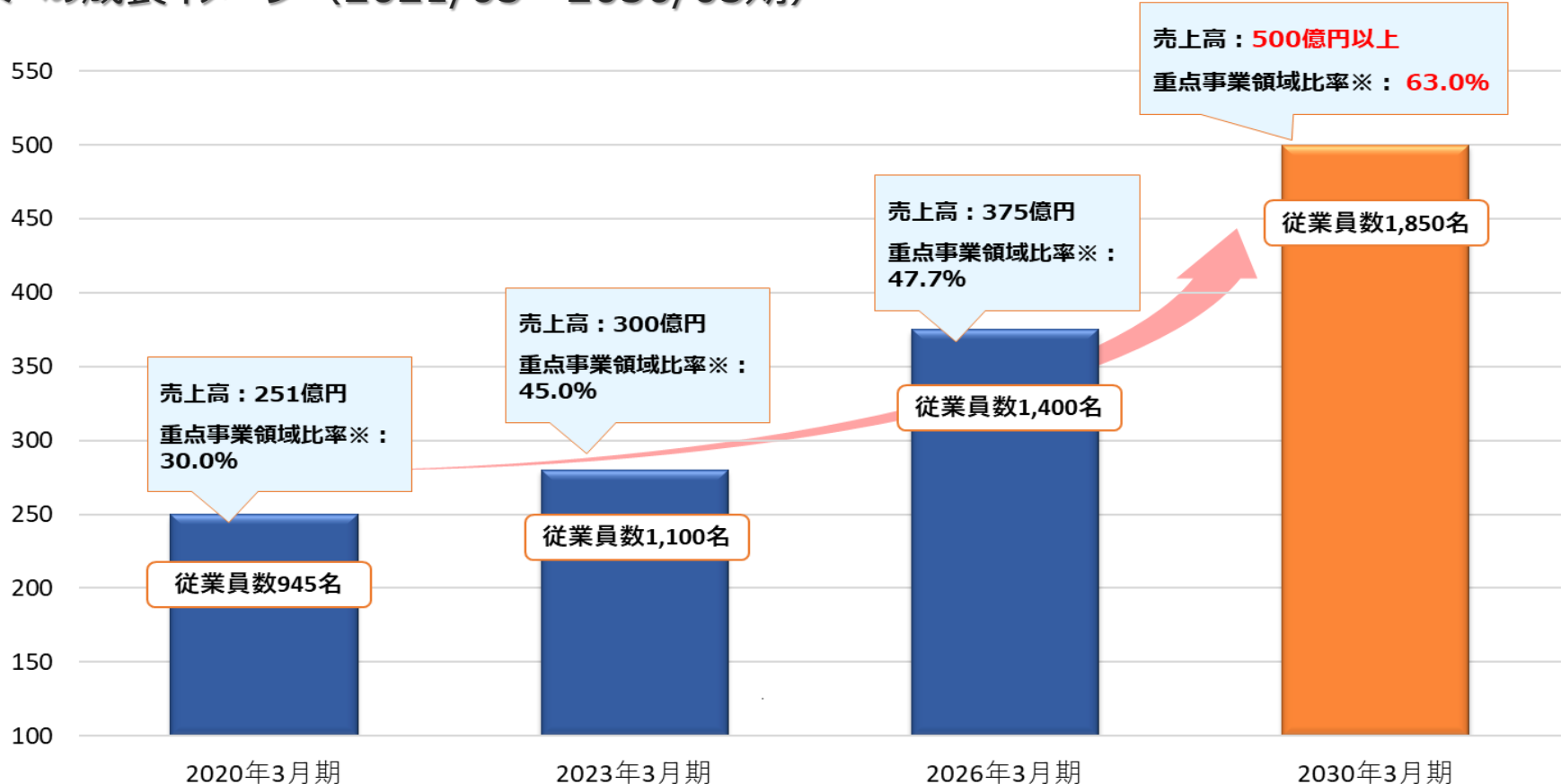
成長戦略

目指す姿： お客様に最高のサービスをお届けするために変革し続ける企業

■スローガン *Evolution for Customers*
 —— 全進で未来へ “シンカ” ——



■将来への成長イメージ (2021/03~2030/03期)



※重点事業領域比率：当社が定める重点事業（オフィスサービス事業、3 PL事業、ビルデリバリー事業、M&A）がグループ全体の売上に占める比率

✓ 中期経営計画2023の3年間は、長期ビジョン達成に必要な高い成長率を獲得するためのスタートアップ期間として位置付け

【計画のポイント】

- ・持続的成長を支えるシステム機能、人材育成機能、ホールディングス機能、コーポレートガバナンスの基盤整備に注力
- ・成長スピードを加速させるM&Aも含めた新規事業領域や重点事業領域への積極的な投資
- ・売上成長のための投資推進や積極的な株主還元を行うため、営業CFを重要視し指標化

①売上目標

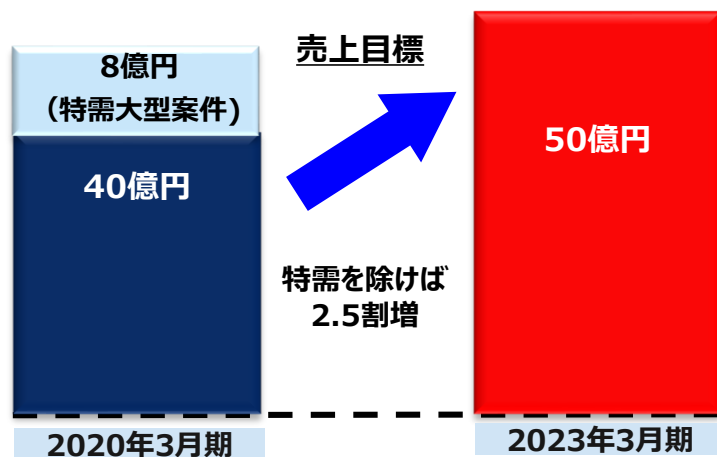


②その他の経営財務目標

- ①重点事業領域売上比率45%
(移転、3PL、ビルデリ、M&A)
- ②3年累計営業CF36億円
- ③ROE 6%以上

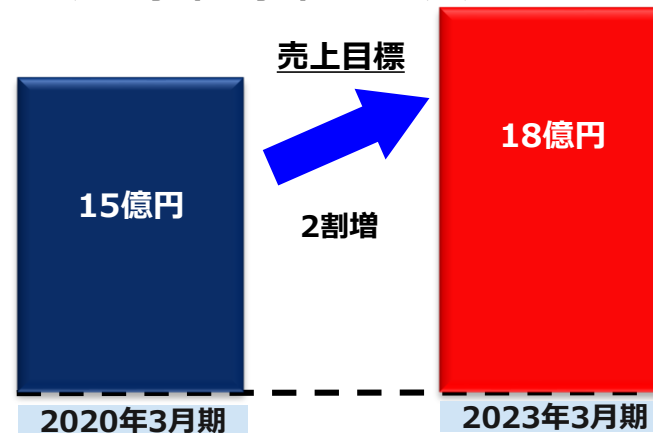
オフィスサービス事業

事業領域の拡大（移転・引越の多様化対応）



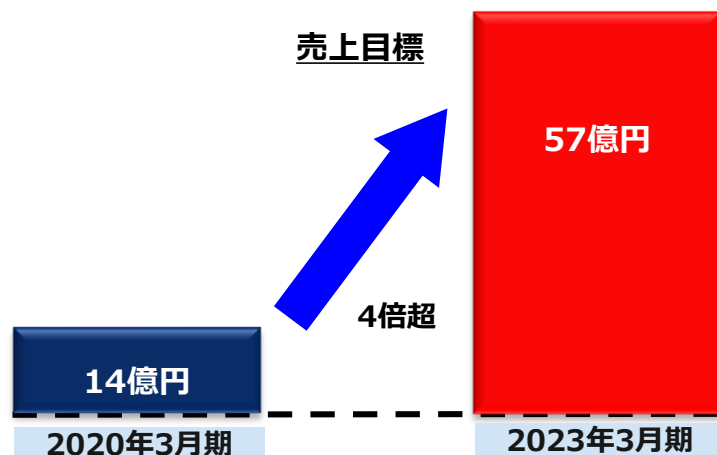
ビルデリバリー事業

ビルデリ事業の更なる推進に加え、
メール室事業を事業の柱に加える



3 P L 事業

コンビニ事業からeコマース及び
インフラ会社資材 3 P L へ重点を移行



M & A

ヒガシ21グループの輸送力、物流設計力、
ITを活用したサービス力などを生かし、
新規事業領域も含め重点事業領域を強化

- ◆単なる売上拡大ではなく、ヒガシ21グループの
中長期戦略とのマッチングを重視
- ◆M&Aを専門的に行う事業開発部の人員増強
- ◆M&A後のPMIに有効なグループガバナンスを実行
するためのホールディングス機能の強化

- ✓ 中期的な3PL事業強化の一環として、2023年4月大阪府茨木市宮島に北大阪ロジスティクスセンター（6,000坪）の開設を決定
- ✓ ヒガシ21としては、2019年10月のニッセイロジスティクスセンター東大阪、2020年7月の門真総合物流に続く新たな大型物流拠点開設となる

■ 完成イメージ



「北大阪ロジスティクスセンター」特設サイト

下記URL及びQRコードからご覧いただけます。



URL : <http://test.exe-creation.com/higashi21-kitaosaka02/>

■ 施設概要

所在地	大阪府茨木市宮島
建物延床 総面積	50,000㎡（15,000坪）
構造・規模	地上7階建 （倉庫部分4階のうち3・4階部分）
トラック バス	シングルランプウェイ（分離型） 片面34バス
竣工予定	2023年4月
設備等	事務所・休憩スペース・ 会議室等完備

VISION2030：持続可能な企業活動（環境・社会・コーポレートガバナンス）の推進

【事業活動を通じたSDGs目標達成への貢献】

- ・物流効率化による省エネ・地域コミュニティの環境改善、配送業者の作業負荷軽減への貢献
- ・住みやすい都市・資源循環の促進に資する静脈物流の展開



■ ESGに関する具体施策・取組状況

環境

・低公害車導入推進

- 導入推進と意識啓発に向け、低公害車車両にステッカーを貼り付けし、運行
- 低公害車トラック10%以上導入目標を設定（2023年3月期）

・エコドライブの推進

- デジタルタコメーターの有効活用によるアイドリング時間の軽減

社会

・交通安全への取組

- 交通安全教室の開催
- こどもミュージアムPJの実施（絵画コンテスト・トラックラッピング実施）

・労働環境の整備

- 女性活躍リーディングカンパニー認証取得 ※最高位2つ星獲得
- 「働きやすい職場認証」取得目標を設定（2021年度取得を目指す）

・社会貢献活動への参画

- ヒーローズカップ（小学生ラグビー）協賛

（コーポレート）ガバナンス

・開かれた経営への取組

- 2019年指名委員会等設置会社へ移行

※ 指名委員会設置等会社は東証1部全体で約3%に留まる

	人数	うち 社外	委員長 (議長)
取締役会	10名	6名	社内取締役
指名委員会	4名	3名	社外取締役
監査委員会	4名	4名	社外取締役
報酬委員会	4名	3名	社外取締役

⇒ 当社はSDGs 目標達成に向けた貢献が期待できると判断され、(株)三井住友銀行から『SDGs 推進融資』を受けております。(2020年12月)



ヒガシ21では、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを『ひまわりプロジェクト』と名付け、様々な活動に取り組んでいます。

こどもミュージアムプロジェクト



NPO法人ヒーローズ/ヒーローズカップ協賛



- ・低公害車推進プロジェクト
(車体貼付用ステッカー)



- ・女性活躍リーディングカンパニー
認証取得



2022年3月期 第1四半期決算・通期計画

- ✓ **売上高・経常利益としては共に過去最高を更新**
→ コロナ禍による業績影響が前期よりも弱まったことも相まって1Qは大幅な増収・増益
- ✓ 業容拡大に加え、経費削減や業務効率化などを推進し、損益分岐点の引き下げを実現

【ご参考】

連結損益計算書概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	1Q	構成比	1Q	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	5,536	100.0%	6,537	100.0%	1,001	18.1%	24,436	100.0%
売上総利益	1,172	21.2%	1,496	22.9%	323	27.6%	5,062	20.7%
販売費および一般管理費	977	17.7%	1,036	15.9%	59	6.1%	4,039	16.5%
営業利益	195	3.5%	459	7.0%	264	135.1%	1,022	4.2%
経常利益	214	3.9%	516	7.9%	301	140.6%	1,287	5.3%
特別利益	0	0.0%	5	0.1%	5	-	3	0.0%
特別損失	2	0.1%	0	0.0%	-2	-77.8%	240	1.0%
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益	125	2.3%	336	5.1%	210	167.8%	666	2.7%

- **運送事業** ⇒ 事務所移転作業増加、GIGAスクール構想によるPCキッティング業務受託等により、増収増益
- **倉庫事業** ⇒ 前年度期中より稼働したe-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収増益
- **商品販売事業** ⇒ コピー用紙等の販売が増加したこと等により、増収増益
- **ウェルフェア事業** ⇒ 福祉用具の在庫圧縮、拠点統廃合による人件費減少等により、増収増益
- **その他** ⇒ 駐車場事業の大口得意先との契約終了等により、減収減益

【ご参考】

セグメント別決算概要 (百万円)	2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
	1Q	構成比	1Q	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高	5,536	100.0%	6,537	100.0%	1,001	18.1%	24,436	100.0%
運送事業	3,612	65.2%	4,272	65.3%	660	18.3%	16,277	66.6%
倉庫事業	1,517	27.4%	1,859	28.4%	341	22.5%	6,347	26.0%
商品販売事業	105	1.9%	130	2.0%	24	23.5%	571	2.3%
ウェルフェア事業	223	4.0%	225	3.4%	1	0.6%	891	3.6%
その他(※)	76	1.4%	50	0.8%	-26	-34.0%	348	1.4%
	1Q	利益率	1Q	利益率	増減額	増減率	通期	利益率
セグメント利益	624	11.3%	859	13.1%	235	37.8%	2,716	11.1%
運送事業	366	10.1%	438	10.3%	72	19.7%	1,679	10.3%
倉庫事業	223	14.7%	383	20.6%	159	71.7%	876	13.8%
商品販売事業	0	-0.2%	2	1.7%	2	-	10	1.8%
ウェルフェア事業	28	12.5%	33	15.0%	5	20.3%	129	14.5%
その他(※)	6	8.8%	2	4.3%	-4	-67.8%	21	6.1%

※ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場事業等を含んでおります。

- **オフィスサービス事業** ⇒ 事務所移転需要増加等により、増収
- **3PL事業** ⇒ e-コマース向け大型物流センターの本格稼働等により、増収
- **ビルデリバリー事業** ⇒ ビル入居時のファシリティマネジメント業務受託等により、増収
- **基幹事業** ⇒ 前年同期のコロナ禍の影響から回復し、増収
- **ITサービス** ⇒ GIGAスクール構想に伴うPCキッティング業務の受託等により、増収

【参考：報告書のセグメントと事業領域の関係図】

事業領域 \ 報告書のセグメント	運送	倉庫	商品販売	カルフエア	その他
オフィスサービス	○				
3PL	○	○			
ビルデリバリー	○				
基幹	○	○	○		○
介護サービス				○	
IT	○	○	○		○
M&A	○	○			

【ご参考】

事業領域別売上高 (百万円)		2021年3月期 実績		2022年3月期 実績		前年同期比		2021年3月期 実績	
		1Q	構成比	1Q	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高		5,536	100.0%	6,537	100.0%	1,001	18.1%	24,436	100.0%
重点事業	オフィスサービス事業	804	14.5%	1,088	16.6%	283	35.3%	4,156	17.0%
	3PL事業	605	10.9%	766	11.7%	161	26.7%	2,723	11.1%
	ビルデリバリー事業	368	6.6%	395	6.0%	26	7.3%	1,617	6.6%
基幹事業	基幹事業	3,381	61.1%	3,692	56.5%	310	9.2%	13,697	56.1%
独自事業	介護サービス事業	223	4.0%	225	3.4%	1	0.6%	891	3.6%
	ITサービス事業	153	2.8%	370	5.7%	216	141.3%	1,349	5.5%

上記の内 M&Aによる売上高		1Q	構成比	1Q	構成比	増減額	増減率	通期	構成比
売上高		793	100.0%	873	100.0%	80	10.1%	2,573	100.0%

既存子会社の、官公庁向け文書物流における物量増加や、引越需要増加等により増収

✓ 2022年3月期は増収・増益を見込む

	2022年3月期			前期比 増減率(%)
	通期 実績(百万円)	上期 実績(百万円)	下期 実績(百万円)	
売上高	26,000	11,883	14,117	6.4%
営業利益	1,241	526	715	21.4%
経常利益	1,300	554	746	0.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	818	349	469	22.8%
1株当たり当期純利益(円)	63.04	26.9	36.14	

✓ 2021年3月期は営業・経常増益で過去最高を更新

	2020年3月期 実績 (百万円)	2021年3月期 実績 (百万円)	前期比 増減率(%)
売上高	25,111	24,436	-2.7%
売上総利益	4,819	5,062	5.0%
売上総利益率	19.2%	20.7%	
販管費	3,822	4,039	5.7%
営業利益	996	1,022	2.6%
営業利益率	4.00%	4.20%	
経常利益	1,055	1,287	22.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	691	666	-3.6%
1株当たり当期純利益 (円)	53.62	51.33	-
1株当たり純資産 (円)	648.2	685.17	-

■ セグメント別業績

	2020年3月期 実績 (百万円)	2021年3月期 実績 (百万円)	前期比 増減率(%)
売上高	25,111	24,436	-2.7%
運送事業	17,347	16,277	-6.2%
輸送サービス事業	10,738	9,659	-10.0%
オフィスサービス事業	5,121	5,000	-2.4%
ビルデリバリー事業	1,488	1,618	8.7%
倉庫事業	5,778	6,347	9.9%
商品販売事業	637	571	-10.3%
ウエルフェア事業	883	891	0.9%
その他	464	348	-25.0%
営業利益	996	1,022	2.6%
運送事業	1,835	1,679	-8.5%
倉庫事業	653	876	34.1%
商品販売事業	11	10	-9.6%
ウエルフェア事業	6	129	1812.2%
その他	68	21	-68.9%
全社費用	-1,578	-1,693	-

■ 貸借対照表・経営指標

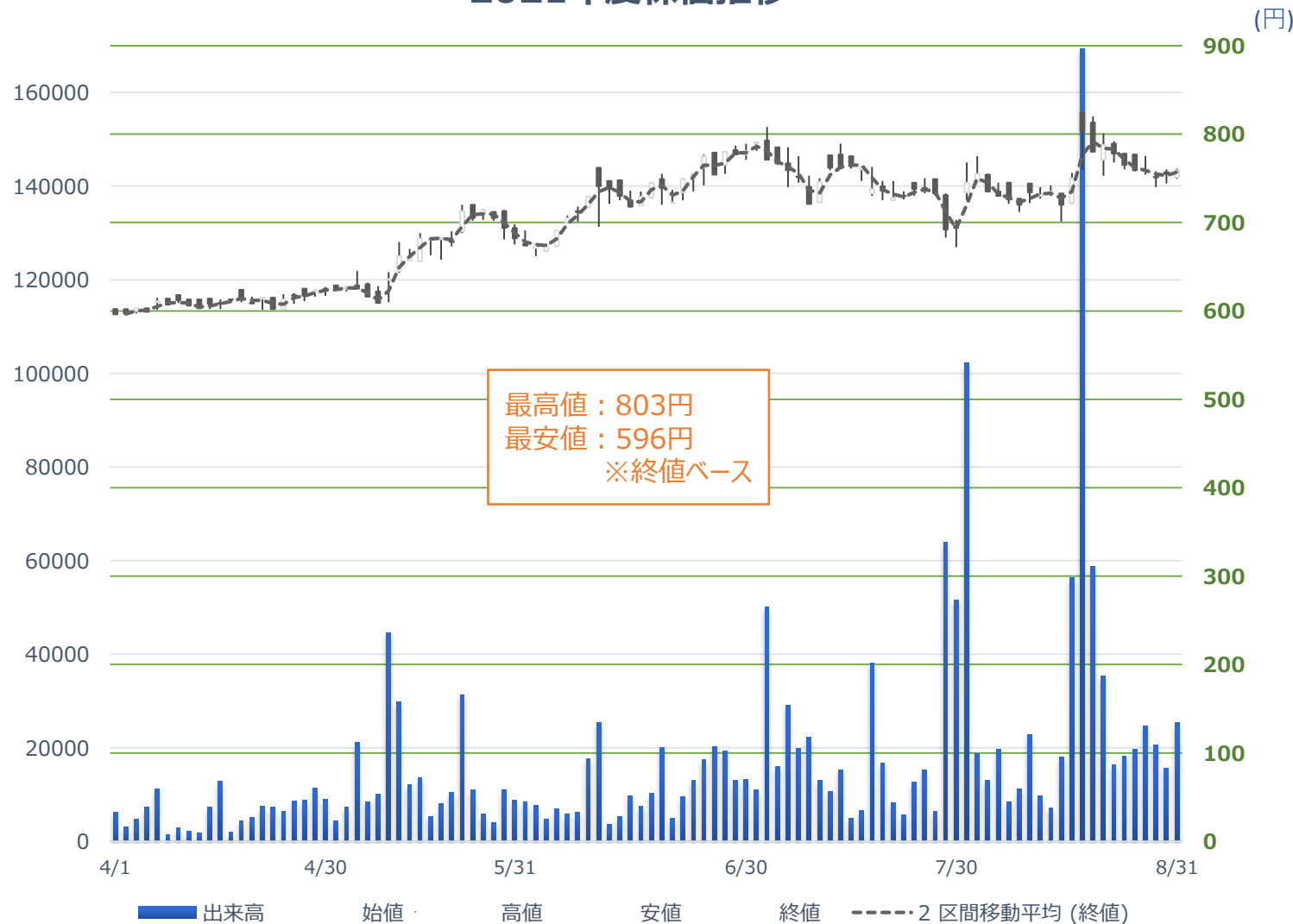
	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	前期比
資産合計	12,281	13,908	14,396	15,338	15,811	472
（流動資産）	5,885	6,915	6,931	7,771	8,052	281
（固定資産）	6,395	6,992	7,464	7,567	7,758	191
負債合計	5,130	6,335	6,539	6,961	6,897	-63
（流動負債）	3,829	4,329	4,532	5,194	5,338	144
（固定負債）	1,300	2,005	2,007	1,767	1,559	-208
純資産合計	7,150	7,572	7,856	8,376	8,913	536
（経営指標）						
自己資本比率	58.2%	54.4%	54.6%	54.6%	56.4%	1.8pt
ROE（自己資本当期純利益率）	7.7%	6.8%	7.6%	8.5%	7.7%	-0.8pt
営業利益率	3.4%	3.9%	3.8%	4.0%	4.2%	0.2pt

■ キャッシュフロー計算書

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	724	857	955	1,297	508
投資活動によるキャッシュ・フロー	-187	-631	-633	-260	-534
財務活動によるキャッシュ・フロー	-331	348	-609	-420	-101
現金及び現金同等物の期末残高	2,289	2,864	2,577	3,194	3,068

株主還元

2021年度株価推移



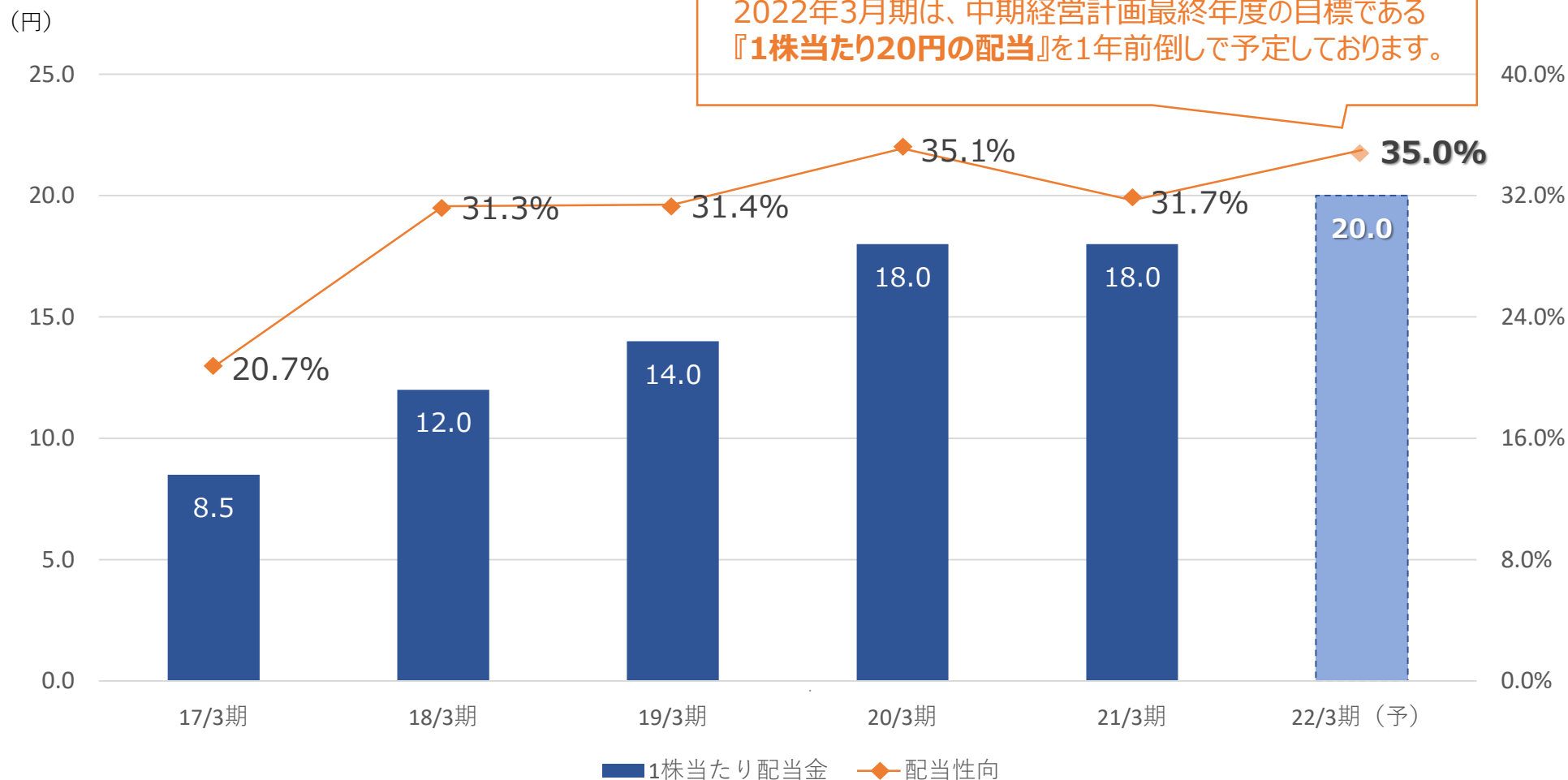
2021.8.31時点

PBR	1.10倍
PER	12.1倍
単元株数	100株
発行済株式数	13,264,000株
配当利回り	2.64%

当社流通株式比率 (個人株主+外国法人等) は47.8% ※東証市場のプライム基準は35%以上

- ✓ 当社は株主の皆様への利益還元を重要課題の一つと認識しており、連結配当性向30%以上を目安に、安定的かつ継続的な配当を実施していく方針です。

■ 1株当たり配当金・配当性向の推移



■ 制度内容

実施回数	毎年 1 回
基準日	毎年 9 月末日
優待内容	① 500株以上1,000株未満保有の株主 ⇒ <u>1,000円相当のクオカード</u> ② 1,000株以上2,000株未満保有の株主様 ⇒ <u>2,000円相当のクオカード</u> ③ 2,000株以上保有の株主様 ⇒ <u>4,000円相当のクオカード</u>
長期保有特典	500株以上を1年以上継続保有の株主様 ⇒ <u>1,000円相当のクオカード</u> (毎年9月末日の株主名簿に同一の株主番号で2回以上連続して株主名簿に記載または記録された株主様)

■ 配当利回り

1,000株保有時の計算例 (2022年3月期実績 / 予想通りの配当 20 円の場合)

(■ 投資金額 (時価) 759円×1,000株 = 759,000円)

■ 受取配当金 20円×1,000株 = 20,000円

■ 受取株主優待 2,000円

■ 長期保有特典 1,000円 (1年以上保有の場合)

合計 23,000円

【前提条件】

- ・配当日は2022年6月：20円予想/株
- ・株価は2021年8月31日基準：759円/株

→ **株主優待込みの利回り：23,000円÷759,000円×100 = 3.03% (優待を除く配当利回りは2.63%)**

ご参考：株式平均利回り (2021年6月末時点) ※東京証券取引所公表資料

東証一部の株式平均利回り 1.86% / 東証二部の株式平均利回り 2.05%



トウエンティワン

株式会社 ヒガシ21

HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD.

(注意事項)

- 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている内容は、ヒガシ21グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでおります。このため、将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。
- 今後、新たな情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる業績に関する予想及び見通しの記述の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

■コーポレートサイトURL

<https://www.e-higashi.co.jp/>



その他、各種情報を配信しておりますのでぜひご登録ください

